

住宅の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準における  
設計一次エネルギー消費量算定方法の変更について

平成 25 年 11 月 12 日

「暖冷房負荷と外皮性能の評価方法（外皮の日射熱取得）」の一部を下記のように変更します。

○ 変更箇所

第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「外皮の日射熱取得」付録 3.3A「住宅の平均日射熱取得率算出に用いる材料種別の熱物性値等」「A.1 ガラスの日射熱取得率」（解説書第二部第三章 P.242<sup>※</sup>）

※ 国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修・平成 25 年住宅・建築物の省エネルギー基準解説書編集委員会編集「平成 25 年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説 II 住宅」（初版）におけるページを示す。

○ 変更前

表 A.1 ガラス種別及び付属部材に応じた日射熱取得率

ガラスの仕様 <sup>※1</sup>			日射熱取得率 $\eta$		
			ガラスのみ	和障子	外付け ブラインド
三層 複層	Low-E 三層複層ガラス (Low-E ガラス 2 枚)	日射取得型	0.54	0.34	0.12
		日射遮蔽型	0.33	0.22	0.08
	Low-E 三層複層ガラス (Low-E ガラス 1 枚)	日射取得型	0.59	0.37	0.14
		日射遮蔽型	0.37	0.25	0.10
	三層複層ガラス		<u>0.72</u>	<u>0.38</u>	<u>0.18</u>
二層 複層	Low-E 複層ガラス	日射取得型	0.64	0.38	0.15
		日射遮蔽型	0.40	0.26	0.11
	遮熱複層ガラス	熱線反射ガラス 1 種	0.61	0.33	0.14
		熱線反射ガラス 2 種	0.38	0.24	0.10
		熱線反射ガラス 3 種	0.16	0.12	0.06
		熱線吸収板ガラス 2 種	0.52	0.28	0.12
	複層ガラス、単板ガラス 2 枚		0.79	0.38	0.17
単層	単板ガラス		0.88	0.38	0.19
	熱線反射ガラス	1 種	0.68	0.35	0.16
		2 種	0.49	0.30	0.13
		3 種	0.23	0.20	0.08
	熱線吸収板ガラス 2 種		0.63	0.34	0.15
二重窓	単板ガラス＋単板ガラス		0.80	0.39	0.17
	単板ガラス＋複層ガラス		0.72	0.39	0.17
	単板ガラス＋Low-E 複層ガラス	日射取得型	0.60	0.38	0.14
		日射遮蔽型	0.46	0.34	0.12

※1 ガラスの仕様において、

- ・三層複層、二層複層、二層単板 2 枚、二重窓において、中空層の仕様（幅、封入層等の気体種別）は問わない。
- ・Low-E 三層複層ガラスとは、少なくとも一枚のガラスに Low-E ガラスを使用した 3 枚の板ガラスと 2 つの中空層からなる複層ガラスをいう。
- ・Low-E 複層ガラスとは、少なくとも一方のガラスに Low-E ガラス（ガラス表面に低放射膜を配したガラス）を使用した 2 枚の板ガラスと 1 つの中空層からなる複層ガラスをいう。
- ・日射取得型とは、JIS R 3106 に定めるガラス中央部の日射熱取得率が 0.50 以上のものをいう。
- ・日射遮蔽型とは、JIS R 3106 に定めるガラス中央部の日射熱取得率が 0.49 以下のものをいう。

- ・単板ガラス（複層及び Low-E 複層に組み合わせる透明ガラス含む。）とは、JIS R3202 に定めるフロート板ガラス及び磨き板ガラス、JIS R3203 に定める型板ガラス、JIS R3204 に定める網入板ガラス及び線入板ガラス及びそれらからなる JIS R3206 に定める強化ガラス、JIS R3222 に定める倍強度ガラス、JIS R3205 に定める合わせガラスをいい、それらの板ガラスに表面加工による光学的な拡散性を持たせたもの（刷りガラス、フロスト加工、タペストリー加工）を含む。ただし、ここに JIS R3208 に定める熱線吸収板ガラス、JIS R3221 に定める熱線反射ガラスは含まない。

## ○ 修正後

表 A.1 ガラス種別及び付属部材に応じた日射熱取得率

ガラスの仕様※1			日射熱取得率 $\eta$		
			ガラスのみ	和障子	外付け ブラインド
三層 複層	ダブル Low-E 三層複層ガラス	日射取得型	0.54	0.34	0.12
		日射遮蔽型	0.33	0.22	0.08
	Low-E 三層複層ガラス	日射取得型	0.59	0.37	0.14
		日射遮蔽型	0.37	0.25	0.10
二層 複層	Low-E 複層ガラス	日射取得型	0.64	0.38	0.15
		日射遮蔽型	0.40	0.26	0.11
	遮熱複層ガラス	熱線反射ガラス 1 種	0.61	0.33	0.14
		熱線反射ガラス 2 種	0.38	0.24	0.10
		熱線反射ガラス 3 種	0.16	0.12	0.06
		熱線吸収板ガラス 2 種	0.52	0.28	0.12
	複層ガラス、単板ガラス 2 枚		0.79	0.38	0.17
単層	単板ガラス		0.88	0.38	0.19
	熱線反射ガラス	1 種	0.68	0.35	0.16
		2 種	0.49	0.30	0.13
		3 種	0.23	0.20	0.08
	熱線吸収板ガラス 2 種		0.63	0.34	0.15
二重窓	単板ガラス+単板ガラス		0.80	0.39	0.17
	単板ガラス+複層ガラス		0.72	0.39	0.17
	単板ガラス+Low-E 複層ガラス	日射取得型	0.60	0.38	0.14
		日射遮蔽型	0.46	0.34	0.12

※1 ガラスの仕様において、

- ・中空層の仕様（幅、封入層等の気体種別）は問わない。
- ・ダブル Low-E 三層複層ガラスとは、少なくとも 2 枚のガラスに Low-E ガラスを使用した 3 枚の板ガラスと 2 つの中空層からなる複層ガラスをいう。
- ・Low-E 三層複層ガラスとは、一枚のガラスに Low-E ガラスを使用した 3 枚の板ガラスと 2 つの中空層からなる複層ガラスをいう。
- ・Low-E 複層ガラスとは、少なくとも一方のガラスに Low-E ガラス（ガラス表面に低放射膜を配したガラス）を使用した 2 枚の板ガラスと 1 つの中空層からなる複層ガラスをいう。
- ・日射取得型とは、JIS R 3106 に定めるガラス中央部の日射熱取得率が 0.50 以上のものをいう。
- ・日射遮蔽型とは、JIS R 3106 に定めるガラス中央部の日射熱取得率が 0.49 以下のものをいう。
- ・単板ガラス（複層及び Low-E 複層に組み合わせる透明ガラス含む。）とは、JIS R3202 に定めるフロート板ガラス及び磨き板ガラス、JIS R3203 に定める型板ガラス、JIS R3204 に定める網入板ガラス及び線入板ガラス及びそれらからなる JIS R3206 に定める強化ガラス、JIS R3222 に定める倍強度ガラス、JIS R3205 に定める合わせガラスをいい、それらの板ガラスに表面加工による光学的な拡散性を持たせたもの（刷りガラス、フロスト加工、タペストリー加工）を含む。ただし、ここに JIS R3208 に定める熱線吸収板ガラス、JIS R3221 に定める熱線反射ガラスは含まない。

以上